

第71回全日本学生児童 発明くふう展

市内児童4人が入賞の快挙！

子どもたちにモノづくりを通じて、創作の喜びや発明くふうの楽しさを知ってもらい、その創造力を育てることを目的に、(公社)発明協会が主催した「第71回全日本学生児童発明くふう展」において、全国から推薦された777作品の応募の中から158作品が入賞しました。十和田市からは、田中優太朗くん(三本木小・6年)の「だんさも楽ちん 車いすだっしゅつボード」が奨励賞に選ばれたほか、3作品が入選し、市内から4人が入賞という快挙を果たしました。

奨励賞を受賞した田中くんは「小学1年生から発明くふうの作品を作っていたので、全国大会で入賞できてうれしいです。これからも作品を作り続けていきたいです」と、受賞の喜びを話していました。

なお、本発明くふう展には「第54回青森県発明くふう展」での入賞作品を県発明協会が推薦しています。

※学年は、現在の学年を記載しています。

奨励賞



たなか ゆうたろう
田中 優太朗くん
(三本木小学校6年)

「だんさも楽ちん 車いすだっしゅつボード」

車いすで段差を上るとき、一人でも簡単に上れるように座っていてもセットできる伸びる棒を使うなど工夫しています。

入選



さわい てんか
澤井 天花さん
(三本木小学校2年)

「ゆびじかんわり」

曜日ごとに分かれている棒を押すと指に書いた時間割が飛び出てきます。時間割は指の順番に書かれていて、わかりやすくなっています。

入選



おがさわら かずま
小笠原 一真くん
(南小学校5年)

「スイッチレス ミキサー」

スイッチのいらないミキサーで、さかさまにすると電池がモーターにくっついて回り、電池が離れると止まります。

入選



しらやま ゆうき
白山 祐基くん
(三本木中学校1年)

「二撃スコップ」

普通のスコップで雪かきをすれば3回区切って4回目の動作ですくいますが、このスコップは上から突き刺し、横からすくう2回の動作でできます。

防ごう！農作業事故

5月31日(金)まで「2013春の農作業安全確認運動」期間中です。農作業中は次のことを心掛けて事故を未然に防ぎましょう。

▼機械や高所での作業ではヘルメットを着用しましょう。



▼はしごや脚立は安定した場所で使用し、転倒しないように固定して作業しましょう。

▼携帯電話を所持しましょう。

▼高齢者は体調を整え十分な休憩を取って、無理のない作業をしましょう。

▼トラクター作業では、転倒・転落に注意しましょう。



▼移動や道路走行時はブレーキペダルを調整しましょう。

▼夕暮れ時は早めにライトを点灯するほか、目立つところへ反射材を付けましょう。

▼作業機械の点検や詰まり除去時はエンジン停止を徹底しましょう。

▼機械に巻き込まれないように服装を整えましょう。

▼万一の事故に備えて労災保険などへ加入しましょう。

問 市農機具利用事故防止対策協議会
(農林畜産課内) ☎6741

【有料広告欄】

総務課広報男女参画係 ☎6702

《お気軽にご相談ください》

十和田ひまわり基金法律事務所 (青森県弁護士会所属) 弁護士 橋本明広
十和田市西三番町1番42号 NTT十和田ビル2階

取扱業務

民事全般、不動産、離婚、相続、成年後見、債務整理、会社関係、刑事
(上記以外の事件も取り扱っています。)

相談料 初回60分 5,250円(税込)

(個人の多重債務相談は無料です。)

相談は電話又は来所による予約制です。

☎0176 (21) 5162 (受付時間 平日9時~17時30分)
<http://www.towada-himawari.com>

農地や農用施設を使用、管理しているかたへ

大雨や地震により農地や農用施設(頭首工・ため池・用水ポンプ・用排水路・農用道路など)に被害を受けた場合、災害復旧事業の対象になります。

申請には、日常の維持管理、運転、点検を行っている状況の写真と日報が必須です。普段から写真と日報を整理しておいてください。

災害発生時には、おおむね10日以内に申請してください。

問 土木課 ☎6730